

令和元年度  
事業報告書

公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会

# 令和元年度事業報告

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日

本年度は、第4期目の指定管理指定を受けた3年目であり、園内駐車場の舗装工事が完成し、体育館の窓枠改修と換気設備の設置、テニスコートの人工芝張替5面が整備されました。

「府民の体育・スポーツの振興」「健康づくりの場として活用」「魅力的な花や緑の公園づくり」「観光拠点としての利用促進」「地域と連携した賑わいづくり」「広報活動の充実」を基本方針としてスポーツ推進事業、自然文化事業、自然文化・スポーツ振興支援事業を積極的に展開しました。

公益法人としては、使命感と責任感を持って、安定した経営確保にも努めました。2020年東京オリンピック・パラリンピックまた2021ワールドマスターズゲームズ関西という世界大会に向け地元行政、関係団体と積極的に連携を図ることにより地域振興にも寄与しました。

スポーツ振興事業では、施設の有効活用を図りながら、府民がスポーツを始めきっかけづくりの場として「京都サンガFCサッカー教室」や「京都フローラ野球教室」などプロ選手の指導を受ける機会の提供や「テニス教室」「レディーススポーツデー」では、保育ルームを設け子育て世代が参加しやすい環境を提供しました。また、「グラウンド・ゴルフのつどい」を実施するなど幅広い年齢層の府民がスポーツを楽しめる場を創設しました。

スポーツの普及・振興や参加者の親睦を深め地域交流の活性化を目的として「グラウンド・ゴルフ大会」「テニス大会」等を開催しました。

本年7回目となった「障がい者スポーツ交流大会」も亀岡以北舞鶴までの障がい者団体等に呼びかけ、多くの参加をいただきました。

冬季の大会として定着してきました「クロスカントリー大会」は第10回を迎えリピーターの参加も多く見られました。

オープン4年目となったトレーニングセンターは、競技団体、学校部活動での利用に向けた広報活動を積極的に行い、京都府内の中学・高校等の各種クラブの医・科学サポート、指導を行い、目標としておりました指導人数12,000人を大きく上回りました。

また、健康体力増進目的で利用される地元住民も多くありました。

文化事業では、「ガーデニング教室」「キノコ教室」「天文教室」など丹波自然運動公園や近隣の自然を活かした教室、「手作り教室」など親子、高齢者が一緒に学ぶ教室を開催して地域の交流、活性化を図ることができました。

地域との連携事業では、公園と地域を幅広くフィールドにした取り組みを展開し、関係団体や地域住民と協力して公園を拠点とした地域ぐるみの活動に発展させることに努めました。「2019京都丹波ロードレース大会」「京都丹波ふるさと特産展うまいもの市」「あっぱれたんぼ」や「京丹波●食の祭典」等恒例のイベントを地元団体と協働で数多く開催し、ご来園の方々に楽しんでいただくことができました。

地元の幼稚園児や保育所の幼児に自然に親しむ機会としてタケノコ掘り等の場の提供も行いました。

新規事業として星の見える映画上映会を開催し、新しい公園の利活用方法を見いだすことが出来ました。

施設の管理運営では、常に利用者の目線にあった対応を心がけ、利用者が安心安全にご利用いただくために職員一人ひとりが危機感を持って事故防止に努めました。また、丹波自然運動公園は、災害時の防災拠点として指定されていることから有事の際には当法人も全面的に協力できる体制を整えました。

今後も、「にぎわいのある公園」を目指して、府民のニーズを取り入れながら地域交流の場及び府民の憩いの場として、公益目的事業を推進するとともに、安心・安全で快適な空間を提供し、豊かな「スポーツライフ」及び自然文化と親しむライフスタイルの確立に努めてまいります。

令和2年2月中旬より全国的に感染が拡大しはじめた新型コロナウイルス感染症の影響で宿泊利用予約のキャンセルが相次ぎ3月宿泊は予約比99%減となりました。

## I 事業の概要

京都府との指定管理基本協定（平成29年4月1日）に基づき京都府立丹波自然運動公園における各施設の管理運営、スポーツ振興事業、自然文化推進事業及び自然文化・スポーツ振興支援事業、地域振興事業などの公益目的事業及び収益事業を行いました。

本年度の主な事業概要は、次のとおりです。

### 1. 入園者数

総入園者数	589,194人
運動施設等	449,668人
フリーゾーン	139,526人

入場者総数は、南北よりの交通のアクセスも良く日帰りでの大会参加者も多く順調に伸びておりましたが、今年の夏は梅雨入りが遅く冷夏で、台風による休園や秋のイベント中止、体育館の窓枠工事による使用中止、団体指導者の働き方改革による合宿期間の短縮、さらには2月下旬から新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点からの大会や合宿中止やキャンセルにより大きく減少しました。

## 2. 公益目的事業

### (1) スポーツ振興事業

施設の有効活用を図りながら、府民の健康づくりや豊かなスポーツライフの実現を目的に多種多様なプログラムを設定し、誰もが気軽に参加できるスポーツの場として地域のスポーツ振興を促す事業

#### 1) スポーツ教室

基本技術の習得と仲間との交流を広げるきっかけづくりの場を提供するとともに保育ルームを設置し子育て世代の女性が参加しやすい環境作りを企画しました。

今年度の保育ルーム利用人数は109名あり、子育て中の女性からは、安心してスポーツができると好評を得ました。

地域交流、スポーツの普及・振興を目的

事業名	回数	人数
レディーススポーツデー	24	741人
テニス教室	32	311人
太極拳教室	21	195人
サッカー教室	1	23人
ツリークライミング教室	2	104人
京都フローラ野球教室	1	59人
合計		1,433人

#### 2) スポーツ振興・レクリエーションの普及

世代を問わずスポーツを楽しむ機会をつくとともに、利用者の親睦を深め、地域交流の活性化を図り、活力ある体力づくりの増進に寄与しました。

地域交流、スポーツの普及・振興を目的

事業名	回数	人数
テニス大会	3	268人

グラウンド・ゴルフ大会	4	1,207人
ゲートボール大会	2	141人
ソフトバレーボール大会	1	30人
クロスカントリー大会	1	249人
障がい者スポーツ交流会	1	95人
エンジョイテニス	35	157人
スポーツを楽しむ日	7	87人
グラウンド・ゴルフのつどい	29	903人
障がい者スポーツのつどい	9	183人
ディスクゴルフ大会	1	47人
合 計		3,367人

### 3) スポーツ支援事業

主にジュニアアスリートを対象として競技力向上を図るための包括的な医科学的支援及び医科学的トレーニング可能な方を対象に健康及び体力を維持増進するための支援を行いました。

地域交流、スポーツの普及・振興を目的

指 導 内 容	利用人数
健 康 体 力 相 談	80人
測 定	2,364人
ト レ ー ニ ン グ 指 導	5,317人
栄 養 指 導	1,037人
ボ デ ィ ケ ア	3,549人
医 事 相 談	583人
メ ン タ ル	537人
動 作 分 析	1,252人
能 力 検 査	66人
合 計	14,785人

### (2) 自然文化推進事業

#### 1) 文化教室

公園の持っている豊かな自然的条件を最大限生かして、心豊かで質の高い生活を送り、毎日の暮らしを楽しみ、文化と親しむライフスタイルの確立に貢献しました。

心身の健全な発達、豊かな人間性を涵養することを目的

事業名	回数	人数	備考
キノコ教室	1	9人	キノコの見分け方
手作り教室	3	65人	ミニ椅子、望遠鏡、しめ縄づくり
ガーデニング教室	3	54人	季節の寄せ植え
天文教室	5	115人	月、星座観望
天体観測		1,338人	
合計		1,581人	

## 2) 自然体験

近隣地域と協働し農業体験等を通して、地産地消、子どもたちの食育、人々とのつながりなどを考える機会を提供しました。

心身の健全な育成を目的

事業名	回数	人数	備考
あっぱれたんぼ	1	177人	田植え
	1	184人	稲刈り
職場体験	1	6人	近隣中学校生涯学習(3日間)
親と子の山村体験	1	40人	
合計		407人	

## 3) 作品展示

近隣の愛好家の作品を展示するとともに栽培方法等の情報交換の場としての役割も果たしました。近隣をはじめ広く来園者に楽しんでいただくことで地域の活性化にも繋がりました。

地域社会の健全な発展を目的

さつき・山野草展	日時	令和元年5月31日(金)～6月2日(日)
	入場者	368人
	内容	丹波地域のサツキ・山野草の愛好家の作品展示と情報交換
菊花展	日時	令和元年10月26日(土)～11月3日(日・祝)
	内容	丹波地域の菊の愛好家及び公園の作品展示と情報交換

#### 4) イベント

スポーツだけでなく公園の四季折々の美しさ、楽しみ方を知っていただくためにイベントを開催し、より多くの人々に来園していただくことを目的に実施しました。実施に当たっては、様々な活動団体と連携・協働して、地域の公園としての位置付けを確立し、地域振興・地域の活性化に積極的に参画しました。

地域交流、地域社会の健全な発展及び心身の健全な育成を目的

丹波ちびっこまつり	日 時	令和元年5月5日(日・祝)
	入 場 者	21,000人
	内 容	金魚つかみ、遊びのコーナー、スポーツコーナー、ツリークライミング、ステージイベント等、京都府警察音楽隊の演奏 南丹船井レクリエーション協会、府立高校、フライングディスク協会等と連携
星の見える 映画上映会	日 時	令和元年8月17日(土)
	入 場 者	25人
	内 容	夜の屋外での映画上映会
あっぱれたんぼ	日 時	令和元年5月19日(日)～9月29日(日)
	入 場 者	3,882人
	内 容	近隣地域と協働し、田んぼにアートする田植え、成育期間中の観望、黒豆収穫体験、地産地消
森のバザール	日 時	令和元年9月23日(月・祝)
	入 場 者	0人
	内 容	台風接近のため中止
京丹波・食の祭典	日 時	令和元年10月27日(日)
	入 場 者	12,000人
	内 容	京丹波町の食材PR、地元産品を使用した料理・加工品の即売
丹波公園まつり	日 時	令和元年11月3日(日・祝)
	入 場 者	27,000人
	内 容	京都丹波ロードレース大会、京都丹波ふるさと特産展うまいもの市、ツリークライミング教室 南丹船井レクリエーション協会、府立高校等と連携した遊びコーナー、森のバザール

### 5) サポーター事業

公園の環境整備を府民みんなの手で美しくするとともに公園への愛着、また参加者の生き甲斐づくりの場として事業を展開しました。

地域の交流、地域社会の健全な発展を目的

## (3) 自然文化・スポーツ振興支援事業

### 1) 運動施設等の公益目的貸与

スポーツ目的での利用者に運動施設の貸与並びに健康で文化的な生活を推進するため文化活動等を行う利用者に公園施設を貸与しました。

スポーツ振興・心身の健全な育成及び地域社会の健全な発展を目的

施設名	利用人数
陸上競技場	96,809人
補助競技場	83,565人
テニス・バレーコート	80,998人
軟式野球場	41,420人
体育館	44,239人
球技場	40,884人
トレーニング棟	13,845人
運動施設合計	401,760人

施設名	利用人数
天文館	1,453人
研修室	18,133人

### 2) 宿泊施設の公益目的貸与

公益目的に合致する公園利用者に対して宿泊施設を貸与しました。

スポーツ振興・心身の健全な育成及び地域社会の健全な発展を目的

施設名	利用人数
宿泊所	20,736人

### 3) 施設の管理運営事業

安全・安心な公園を目指し、府民に親しまれる健全で快適な公園環境の維持管理を行うとともに、防災拠点として有事の際にその機能が



最大限発揮できるよう行政との連携に努めました。

### 3. 収益事業

#### (1) 収1事業

##### 1) 給食業務事業

宿泊施設利用者に栄養面に留意しながらセルフサービス形式で普通食を提供し、利用者のニーズにあわせた地元食材を使用した特別食（鍋料理やオードブル）や、利用者のご要望や相談に応じたアスリート食の提供も行いました。

一般施設利用者への弁当を中心とした大量の昼食提供を、衛生面に十分注意して実施しました。

##### 2) レストラン、レストハウス、売店等業務事業

京都トレーニングセンター内にはレストランならびに売店を開設し、レストランでは、健康を意識して食していただける健康ランチや地元食材を活用したメニューを提供し好評を得ました。

きょうと健康おもてなし 食の健康づくり応援店に加入し野菜たっぷりメニューの提供および食事のエネルギー表示の実施に取り組みました。

また、売店では、宿泊者や利用者の利便に供した雑貨の提供を行いました。

夏期には、南区域にレストハウス及び売店を開設し（プール開園期間中）、利用者への軽食や物品販売サービスに努めると共に、公園宿泊利用者から要望の高いバーベキューも継続して提供し、地場特産品を使用したメニューの提供・販売を行いました。

運動施設を利用の大会主催者からの要望で特設売店を多数開設し好評を得ました。

また、公園の要所には自動販売機を設置し、利用者がこまめに水分補給できるよう配慮しました。

##### 3) 請負業務事業

秋に開催された京丹波●食の祭典をはじめとして園内で行われたイベントや大会の会場設営業務を行いました。

また、園外事業として道の駅「京丹波 味夢の里」の維持管理業務を継続して行いました。

## (2) 収 2 事業

### 1) プール管理運営

本年度のプールのオープン期間は、7月13日(土)～9月1日(日)で、造波プールやウォータースライダーを備えたファミリープールの運営を行いました。また、京都府が指定する子育て応援パスポート事業の対象施設でもあり子育て世代を応援しました。

本年度は、例年より梅雨入りが遅く天候の優れない日が多くあり、また途中台風による休業もあり大きく利用者は減少という結果となりました。

利用者 23,965人

### 2) パターゴルフ場の管理運営

パターのみで遊べる全18ホールの天然芝コースで起伏のある本格的なコースとなっています。

京都府が指定する子育て応援パスポート事業の対象施設であり、子育て世代の家族にも楽しんでいただきました。

利用者 5,576人

### 3) 施設の貸与

施設の貸与のうち観光やレジャー目的等の当法人の公益目的事業外での使用。

宿泊施設利用者	665人
研修室	133人
テニスコート	34人
体育館	67人

トレーニング棟利用のうち健康体力増進等による器具の使用。

トレーニング棟利用者 13,845人

## II 機関運営等

### 1. 組織体制

#### 1) 役員等就任状況（令和2年3月31日現在）

##### 役員

役職名	氏名
理事長	太田 昇
副理事長	谷 俊 明
常務理事	小峰 雅 人
理事	梅原 好 範
	岩崎 雅 寛
	南本 尚 司
	小山 新 也
監事	大槻 督 昭
	畑 中 久 子

##### 評議員

役職名	氏名
評議員	中尾 達 也
	梶本 正 徳
	樹山 静 雄
	木村 淳
	松村 健 一
	山鳥 喜 子

#### 2) 事務局（令和2年3月31日現在）

事務局長（1）	参事（0）	総務課（4） 管理課（12） 業務課（12） トレーニングセンター課（5） *非常勤（8）含む
---------	-------	---

### 2. 理事会・評議員会等の開催状況

#### (1) 理事会

##### 1) 第1回理事会 令和元年5月24日（金）午後3時

##### 決議事項

- ① 平成30年度公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会事業報告の承認について
- ② 平成30年度公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会決算書の承認について
- ③ 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会役員及び評議員候補者の推薦について

- ④ 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会評議員会の招集について

報告事項

- ① 職務執行状況の報告について

2) 第2回理事会 令和元年6月17日(月) 午前11時

決議事項

- ① 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会 役員の理事長、副理事長及び常務理事の選定について
- ② 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会の事務局長の任免ならびに承認について
- ③ 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会常勤役員の報酬について

報告事項

- ① 常務理事・事務局長の不在期間の事案の代決について

3) 第3回理事会 令和2年3月13日(金) 午後3時30分

決議事項

- ① 令和2年度公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会事業計画について
- ② 令和2年度公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会収支予算等について
- ③ 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会就業規則の一部改正について
- ④ 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会理事候補者の推薦について
- ⑤ 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会評議員会の招集について

報告事項

- ① 決算見込みについて
- ② 職務執行状況の報告について

(2) 評議員会

1) 第1回評議員会 令和元年6月13日(木)午後3時

決議事項

- ① 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会平成30年度事業報告の承認について
- ② 平成30年度公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会決算書の承認について
- ③ 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会役員ならびに評議員の選任について

2) 第2回評議員会 令和2年3月24日(火)午後3時

決議事項

- ① 令和2年度公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会事業計画について
- ② 令和2年度公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会収支予算等について
- ③ 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会役員の選任について

(3) 監事監査 令和元年5月17日(金)午後1時30分

- ① 平成30年度事業報告及び決算概要説明
- ② 平成30年度決算

## 事業報告の附属明細書

公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会定款第8条第1項第2号に規定する事業報告の内容を補足する重要な事項を記載すべき「事業報告の附属明細書」は、本事業報告に掲載しているため作成しておりません。